

寄宿舎便り



令和6年3月1日発行

第15号

文責 山下絵里佳

卒業おめでとうございます

風の中に春の匂いを感じるようになりました。本日は高等部卒業式、15日には幼、小学部の卒業式が行われます。寄宿舎からも5名の方が卒業を迎えられます。今年度は行事やイベントもできるようになり、楽しい思い出もできたのではないのでしょうか？寄宿舎で共に過ごした日々を胸に卒業後も健康に留意され元気に活躍されますよう、職員一同心より祈っております。寄宿舎にもぜひ遊びに来られてください。また会える日を楽しみにしております。

☆卒業生よりメッセージ☆

林田 優哉さん（理療科3年）



3年間の寄宿舎生活は私にとって初めての共同生活で、初めの方は慣れるのに奮闘していたのを思い出します。一度社会に出た私にとっては、とても窮屈で早く卒業したいなと本気で思っていました。ですが3年間はあっという間で、少し寂しい気持ちです。寄宿舎の先生方には沢山の心配、迷惑をかけてしまいました。本当に感謝しております。寄宿舎生の皆さん、今後社会に出られ様々な経験をされると思います。嬉しい事も辛い事も沢山あります。世の中必ずしも私たち視覚障がい者に優しいとは限りません。だから当たり前を当たり前と思わず、謙虚な気持ちを忘れないで下さい。3年間大変お世話になりました。ありがとうございました。皆様の今後のご活躍と健康を願っております。

土井口 恵さん（理療科3年）



寄宿舎のみなさん、一緒に楽しい時間を過ごせていつも元気をもらい、楽しい寄宿舎での生活を送らせてもらいました。年齢の離れたみなさんと、イベントでの交流もいい思い出です。

これからの学校生活も、一日一日を大切に過ごして行ってください。3年間お世話になりました。

田中 桃華さん（高等部3年）



小学部2年生から寄宿舍に入っていたので、卒業するのはとても寂しいです。小学生の頃はお母さんが恋しくて、舎の先生が読み聞かせしてくれないと眠れませんでした。小学部5年生の頃、熊本地震を経験し1人部屋が怖いこともありましたが、でも、双葉会役員の方々が色々な行事をたくさん企画してくれて、楽しいことも多かったです。だから寄宿舍を自分の家だと思って過ごすことができました。

寄宿舍のいいところは、異年齢集団での生活だと思います。小さい頃は先輩方から言葉遣いや目上の方への態度を学ぶことができました。自分が高校生になってからは、年下の在舎生へ、舎の生活について教えることで、年下への接し方や伝え方を学ぶことができました。色々な経験を重ね、学べたことは自分自身の財産になったと思います。

最後に在舎生のみなさん、将来困らないように寄宿舍で身につけられる力がたくさんあるので、在舎しているうちに自分でやれることをどんどん増やしていきましょう。11年間ありがとうございました。

佐々木 旺広さん（高等部3年）



私は、盲学校寄宿舍に小学4年生の頃からお世話になりました。この寄宿舍は生活の基本が学べるだけでなく、楽しい行事があったり友達と話したりできる楽しい場所だと思っています。

実際に私も、この寄宿舍に入ったことで生活の基本を学ぶことができました。寄宿舍指導員の先生方も面白い話しをしてくださって、とても楽しい時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

内永 未留愛さん（小学部6年）



私は小学部2年の終わりから寄宿舍に入りました。最初は1泊から始めて、今は2泊しています。寄宿舍では、洗濯干しや箸の練習を頑張りました。

思い出もたくさんできました。一番楽しかったのは、先生達と一緒に寝ることです。一番面白かったのは、マンドリン演奏会です。サザエさんの曲を歌って、踊って楽しかったです。

中学生になったら、勉強を頑張りたいです。
在舎生の皆さん、ありがとうございました。





豆まき

今年度は、アルミホイルや新聞紙で手作りした豆をまいて、玄関からやってきた赤鬼をみんなで追い払いました！今年の赤鬼は、体に紙風船と鈴をつけ、豆が当たりやすいように工夫している優しい赤鬼でした。鬼の登場とともに「鬼は外！福は内！」のかけ声で思いっきり豆をまいて、盛り上がりました。「最後までたくさん豆を投げて楽しかった！」「鬼がとても優しかったので、安心して楽しめた！」「すごい勢いで投げていてびっくりした！」「みんなで投げられて楽しかった！」感想が聞かれました。鬼と一緒に邪気を追い払い、今年一年、笑顔で健康に過ごせることと思います。(田川)



3月の行事予定

- 1日(金) 高等部卒業証書授与式
- 7日(木) 双葉会役員会
- 7日(木) 誕生者紹介
- 15日(金) 幼、小学部卒業証書授与式
- 18日(月)～21日(木) 大掃除週間
- 22日(金) 修了式

卒業生のみなさんはこれが最後の寄宿舎便りとなります。1年間みなさんに寄宿舎の様子を伝えてきましたが、いかがだったでしょうか？

次号は、いよいよ最終号になります！最終号もどうぞ、お楽しみに。